

## あいさつと集団登校のお話

私は、毎朝、正門に立って皆さんにあいさつをしています。目と目を合わせてくれる人、笑顔も見せてくれる人、とっても元気な声であいさつしてくれる人がいます。嬉しいですね。

今年の4月と比べてあいさつができる人が多くなりました。

でも、今でも私がおはようと言っても素通りしていく人もいます。

不思議なことにお互いにあいさつできる人とは、挨拶だけでなくいろいろな話ができるようになっていきます。

それで私は、あいさつは仲良くなれるきっかけなのだなあと分かりました。

あいさつの時に限った話ではありませんが、学校でいつも見かけるけど、まだ話をしたことがない人ってたくさんいますよね。ただ単にあいさつができなかったことで、素通りしてその人とつながりが持てないでいるのは、なんとももったいないなあ、と思います。だから、つながりを持っていない人とは、自分から思い切ってあいさつを試してみたらどうか、と思います。きっと、その人との間で、いいことがあるのではないかと、思います。

### あいさつ、という言葉の

「あ」は、明るく元気に、相手の顔を見て、の「あ」

「い」は、いつでも、どこでもの「い」

「さ」は、相手より先にの「さ」

「つ」は、は続けましょう、の「つ」

毎朝、あいさつを続けて、あいさつの習慣を身に付けてください。あいさつは、朝起きたら、おうちのの人に自分からして、学校に行くときに地域の人と会ったらやはり自分から進んでするなど、いつも、明るく、元気に続けていくことが大切です。まだ話したことがないお友だちにも自分からあいさつをしてみましょう。

集団登校の良さは、防犯や交通での安全を図れることはもちろんのこと、大雨や暴風時での対応に向けて普段から備えられること、登校班をきっかけとして地域の人と知り合うことができる、いろんな学年の人どうしの関わり合い、自分より小さい学年の友だちへの気配りや相手の立場を考えて行動する力を育てる、といったところにあると考えることができます。防犯や災害に強い地域というのは、地域の人みんな顔見知り、仲が良い地域なんだそうです。

集団登校には、ルールもあって、勝手に違う登校班に行っちゃいけないというお約束があります。

そうでないとみんなの登校のサポートをしてくれる、おうちの人たちが困ってしまいます。

登校に付き添ってくれるPTAの方たちは、時間をやりくりして一生懸命集団登校を支えています。たくさんのお子さんの顔を覚えて仲良くなりたいと思って頑張っています。ですから、なるべくみんなには集団登校に参加してもらいたいです。学年が違うお友だちともあいさつをして、仲良くなってもらいたいと思います。親切なお姉さんお兄さんが、次の親切なお姉さんお兄さんを育てるのですよ。